

備前市事務事業評価表

事務事業名	県道整備促進事業	コード	01-01-11-03
		担当課・係	都市整備課 管理係
		担当者	藤田 楽
		電話	64-1833
事業実施期間	昭和46年～		
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり	
	小項目(施策)	県道の整備促進 歩道の整備促進	

事業について	
目的 (何のために)	県道等を整備し地域住民をはじめ県道等利用者の安全を図る。また、地域の活性化を図ることを目的とする。
対象 (誰・何を対象に)	県道利用者
内容	市内県道で整備が必要な箇所を選定し、県に早期整備の予算措置の要望を行う。

事業の結果								
実施項目	17年度	18年度						
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)					
整備促進負担金	件	5 件						
	件	件						
	件	件						
事業費 (単位：千円)	事業費		事業費		事業費		事業費	
	直接事業費	155	直接事業費	160	直接事業費		直接事業費	
	人件費		人件費	2,289	人件費		人件費	
	受託者負担		受託者負担		受託者負担		受託者負担	
	市債		市債		市債		市債	
	一般財源等		一般財源等		一般財源等		一般財源等	
	合計	155	合計	2,449	合計	0	合計	0

必要人員		0.23	
結果指標①	結果指標名	県土木協会費他	
	結果指標量	5	
	単位	件数	
	対前年比		0.00%
	活動にかかるコスト	円	2,399,000
	単位当たりコスト①	円	479,000
結果指標②	結果指標名		
	結果指標量		
	単位		
	対前年比		
	活動にかかるコスト	円	
	単位当たりコスト②	円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	利用者の利用しやすい、安全に通行できる県道の整備促進を図る。		
成果指標名	納入件数	式又は説明	負担金件数/納入件数
	17年度	18年度	
成果指標量		100.00%	
対前年比	-		0.00%
到達目標値	100%	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	県道整備に向けて、期成会等を通じて県へ要望していく。
目標値	結果指標量①	結果指標量②		

総合評価	今後も整備箇所の要望は増加していくが、事業内容を見直すなどの改善を考えながら状況変化に応じた事業要望が妥当である。	評価区分 <A~E> C
------	---	---------------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	--

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	整備箇所の選定	次期要望時	事業費削減 人件費の有効利用
有効性	地域住民主体での選定	次期要望時	事業費削減